

『日本風景街道』『道の郷』 (シーニックバイウェイジャパン)

日本風景街道298三郷 (シーニックバイウェイ298三郷)

『日本風景街道』実施に向け、現地視察・ヒヤリングが8月2日に行われた。

参加者 国土交通省関東整備局 道路部 道路計画第2課 国土交通省北首都国道事務所 調査課 三郷市役所公園緑地課 NPO法人ふるさと街づくり推進協議会



市役所に戻りヒヤリング



はじめに、視察のルートの説明



花壇前での説明



概要の説明を聞く参加者



ビューポイントとなる「みさと公園」



R298での説明



今年のR298沿道の花壇に咲くコスモスの様子(2006年10月1日撮影)



花と緑の協議会 会長 美田 長彦

日頃、皆様には外かん三郷地区花と緑の協議会の活動に御尽力いただきまして、市政各般にわたりご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年、外かん三郷地区では、東京外環自動車道の三郷南インターチェンジの供用開始や、高次商業施設「ピアラシティーみさと」の開店、つくばエクスプレス三郷中央駅の開業など、大プロジェクトが相次いで完成し、沿線の様相は大きく変貌を遂げました。

このような中、市民の皆様をはじめ、国土交通省北首都国道事務所、三郷市の協働により、国道298号線開通とともに設立された花と緑の協議会の、花と緑を飾る活動は、今年で8年目を迎える、そのネットワークも益々広がりをみせております。

春はポピー、秋にはコスモスが色とりどりに咲き誇り、行き交う人々の目を和ませ、また、この活動により、沿道の車からのゴミのポイ捨てや不法投棄が減り、地域環境が向上し、身近で親しみのある国道として、風情ある景観の一部を築いております。

三郷市といたしまして、『水と緑と出会いのまち、みんなで創るふるさと三郷』を将来都市像に定め、これを実現するための施策の一つとして、市全体を大きなキャンパスにたとえ、河川や道路など公共空間を市民の皆様と花や緑で彩る『花と緑のまちづくり』事業を推進し、地域コミュニティの形成を図っております。

そして、今後とも本協議会活動と共に、産業、教育、福祉等、各種施策の充実と行政改革の推進による自立的なまちづくりに向け鋭意努力してまいりたいと考えております。

外かん三郷地区花と緑の協議会会員の皆様には、住んで良かったと言える、誇れるまちづくりと、誰もが愛着をもてる国道景観を目指し、協議会の活動に対し一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健勝とご発展を心より祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



花と緑の協議会 副会長 小口 安雄

花と緑の協議会の活動は、八年目を迎えました。この活動は、清掃活動からはじまり、花を咲かせる運動に発展し、地域に密着した活動になっています。

昨年三月に三郷市内の国道二九八号が4斜線となり、さらに、十一月には外環自動車道が三郷南ICまで供用され、一般の方々から周辺道路も含めて、走りやすくなったという意見をいただいております。

これは、沿線にお住まいの皆様をはじめ、地域皆様の暖かいご支援の賜物と感謝しております。

環境美化を通じて、外かんが地域の皆様にとって憩いの場、安らぎの場となることは、道路管理に携わるものにとって望外の喜びです。

引き続き、皆様のご支援、ご協力を御願い申し上げます。



花と緑の協議会 代表幹事 大井 巳喜彦

この十数年ほどでボランティア活動がずいぶん盛んになってまいりました。

私たちのNPO活動に定年退職されたあと、第二の人生を謳歌したいという元気な皆さんが大勢、一緒に楽しくボランティア活動をしております。

今朝も298号沿道のコスモス花壇の2回目草取りに10名ほど参加してくれましたがほとんど定年を迎えた人たちです。草取りの最中に大きな笑い声がたえません。俺たちの花壇は今年是最優秀賞とか、誰にも負けない花壇にするのだとか、幾つになっても前向きな皆さんです。

鷹野小学校の私たちのコスモス花壇を是非一度見て下さい。これが本当のコスモス街道のモデル花壇だと全員が胸を張って自負しております。こんな思いの仲間が多い「花と緑の協議会」活動を国の戦略会議が「シーニック・バイウェイ・ジャパン特選7ルート」に選定してくれたと感謝しています。

残された人生の中で自分の生き方をもう一度見直したい、自分たちの暮らしをどう見直していくのか、あるいは、自分たちの生活の基礎となっている地域をどのように変えていったらいいのか、作っていったらいいのかというところに私たちの仲間は大きな関心を持ってみんなが集まっているのではないかと思います。

私たちNPO法人が担い官民が一体となって「連携・協働」し継続事業として進めている「花と緑の協議会」活動は8年目に入りました。活動はマンネリ化することなく「あたりまえの事をあたりまえに実行し」、「やって良い事と、やってはいけない事」の判断力をしっかり身に付け、私たち大人が率先してボランティア活動の素晴らしさと必要性を説き、回りの人々、両親、目上の人々に感謝の気持ちを持つ必要性等々について次世代を担う若い世代に確実に伝えていくことが私たちの責務と痛感しております。

みんなで可憐な花を咲かせましょう！ 『花いっぱい運動』に参加しよう！！



参加団体募集 (個人での申し込みは出来ません。)

* 現在約1,900名が参加しています。 * 先着順にて決めますのでお早めに申込みください。

- ◆ 主な活動 花壇の手入れ 年2回の種まき 年数回の草取りなど
◆ 大きさ (2m×10m)~
◆ 場所 上記 地図のR298両側道 詳細は調整後決定します。
◆ その他 種・肥料等は協議会より支給 年1回の優秀団体の表彰

詳しくは、「花と緑の協議会」代表幹事NPO法人ふるさと街づくり推進協議会にご連絡ください。

日本風景街道：日本風景街道戦略会議 日本風景街道(シーニックバイウェイ)HPより抜粋 http://www.hido.or.jp/fukeikaidou/kaigi.html

日本風景街道 ~シーニックバイウェイジャパン~



シーニックバイウェイ298三郷の景観 (左上：外かん道、下：R298・沿道の花壇)



ビューポイントの奥宮みさと公園 春 ポピー街道 秋 コスモス街道-1 コスモス街道-2

◆ 設立主旨

これまで日本における多くの道路は、高度経済成長を背景に、単にモノ・人を運ぶ機能を有する“道具”として、着実な整備が進められてきた。

そのため、沿道空間との関係を持ちつつ、人・文化の交流空間、あるいは生活空間となっていた道の役割が忘れられると共に、美しさ、景観、味わいなどのニーズは優先されてこなかった。

一方、行政では、美しい国づくり政策大綱や景観緑三法、観光立国行動計画の制定など、景観向上や地域主体の街道空間づくりを支えるための法制度が整備されつつある。

また、道路の分野に関わらず、社会貢献に対する意識の高まりや行政と地域の連携など、地域住民などが社会参加を行う機運も高まっている。

このような状況を背景に、近年、道路に対する多様なニーズに対応するため、道の駅の整備、オープンカフェなどの街道空間を有効に活用する社会実験、地域の人々が植栽・清掃などを行う未知普請、景観を楽しむための美しい街道づくりなどが、住民の積極的参加のもとに進められている。

このような動きを一層進めるためには、街道の機能の多様化や地域の資産の有効活用などの視点に基づき、地域が主体となり、都市部や郊外部などそれぞれの特徴に応じ、“訪れる人”と“迎える地域”の交流による美しい街道づくりを支援する仕組みや体制の確立が必要である。

そこで、学識者、有識者、企業経営者などの賛同と協力を得て、新たな支援の仕組みや体制などの構築に向け検討することを目的とし、本会議を設置する。

◆ 日本風景街道(シーニックバイウェイ)戦略会議メンバー

Table listing members of the Strategic Meeting, including Chairmen, Vice Chairmen, and various members from government, academia, and industry.

シーニックバイウェイ298三郷の『コスモス街道』『二郷半緑水道』と県営『みさと公園』を三郷市の観光スポットに!! シーニック・バイウェイ・298三郷 ~みんなで創る人と花と緑のふれあいの郷『三郷三景』に『道の郷』!~

Regional information section including '地域のねらい' (Regional Purpose), '活動エリアと地域資源' (Activity Area and Local Resources), and '地域の活動推進体制' (Regional Activity Promotion System).

